

理 由 書

本区域は、最高峰の金時山を中心に、東方の明神ヶ岳にのびる箱根外輪山と北方の足柄峠、矢倉岳にのびる足柄山塊を両翼として、約 90 度の扇形に開けた中に、丘陵地、台地、さらに山あいのせせらぎを集めて西から東へと市街地を流れる狩川、内川の河谷平野と酒匂川の沖積地からなる西高東低の地形となっています。このような地形が織りなす豊かな緑や清らかな水を大切にしながら、良好な居住環境の整備や産業の活性化を通じて都市の魅力を高めるとともに、市民一人ひとりがまちを愛し、誇りに思い、生き生きと暮らせるまちづくりを進めています。また近隣市町との交流や連携を深め、広域的な行政を進めることを基本的な考え方とし、「自然を活かし 人を育み 未来を拓く 南足柄」を目指しているものです。

本区域における以上のような都市の将来像について、令和 2 年に実施した都市計画基礎調査結果等を踏まえ、都市の発展の動向、人口、産業の現状及び令和 17 年を目標年次とした将来の見通し等を勘案し、主要な土地利用、都市施設及び市街地開発事業についてのおおむねの配置、規模等を定め、一体の都市として整備、開発及び保全を図るため、本案のとおり変更するものです。